

株式会社 源邑光 北野刃物製作所

<https://kitanohamono.co.jp/>



面取りや穴開けなどの工程

最新機械導入で新市場を開拓 「へら」でニッチトップ企業へ

平成29年度 補助事業と具体的な成果

事業テーマ

新市場進出などを目指した
生産性向上実現へのNCルーター導入事業

事業概要

「ものづくり補助金」を活用し、最新の木工用NCルーターマシン「NCN1210」を導入した。現在、主力商品であるへらなどの柄部分の製造工程をどう効率化するかが課題となっている。熟練職人にしかできない工程もあり、最新機械を活用して“誰でもできる化”を図る。図面のCAD化は、長年にわたって蓄積してきたノウハウをデータ化することにもつながる。生産余力のアップは受注増にも貢献する。既存の建設業以外に「食品・家具」市場などへ進出し、売り上げの増加を目指す。

課題

取組

- 熟練技術者の技術に依存
- 技術承継に多大な時間
- 生産性が悪くコスト高に
- 販路開拓の余力がない
- 最新NCルーターの導入
- 図面のCAD化
- 少量多品種生産への対応
- 機器対応のための社員教育

成果

- 「誰でもできる化」を実現
- 生産効率がアップ
- 生産可能な製品バリエーションが拡大
- 売り上げの増加



NCルーターマシン「NCN1210」

■ 業務内容

刃物の製造を皮切りに創業 100年超の伝統を誇る

明治39年、刃物の製造を生業に創業する。現社長で4代目となり、100年を超す社歴を持つ。社名の「源邑光」はもともとは屋号。創業から長らく牛刀などの刃物を製造してきたが、昭和40年から現在の主力である「内・外装用の金へら」の製造を始めた。今は刃物の製造からは撤退し、建設現場で使用する道具を作成する。申請中のものを含め、10数個の実用新案を取得するなど、独自性のある「へら」の改良に注力する。平成30年には、オンリーワン技術を持つ企業などを対象にした「大阪府ものづくり優良企業賞2017」を受賞した。

海外進出で柔軟に生産 一般向けの販売も好調

平成24年には、海外拠点として中国に工場を設け、稼働を開始した。現地の中国人数名を雇用し、日本向けに製造している。これを機に価格や用途に合わせて、中国製、国産と柔軟に対応できるようになった。現在は自宅のリフォームなどでDIYの人気もあり、一般向けに内装用へらの販売も増えているという。ホームセンターやネット通販などを通じて、中国製のリーズナブルな製品を販売する。壁紙の張り替えなどに必要な地べら、クロスローラーなど4点セットが好調という。国産の商品は、主に職人向け。こだわりが強い人も多く、特注も受け付けている。手作りにこだわるものづくりには定評があり、細部の仕上げにまで気を配っている。



ディスプレイ用に大型へらを作成

柔軟に生産対応 どんな要望にも応えられる会社に



弊社はものづくりの町・東大阪に拠点を置き、実用新案も多く取得するなど企画開発力のある会社です。お客様からのさまざまなニーズに対応できるのが強みだと考えています。急ぎの生産や、低価格での提供など、要望に応じて柔軟に生産方法を変えることができます。お客様からのどんな要望にも応えられる会社であります。



代表取締役社長
北野 朋宏

- 社名 株式会社 源邑光 北野刃物製作所
- 代表者 代表取締役社長 北野 朋宏
- 住所 〒577-0848 東大阪市岸田堂西2-8-12
- TEL 06-6729-5656
- FAX 06-6729-5667
- 資本金 10,000千円
- 従業員 12名

- 主な取引先 (株)王将フードサービス、(株)MonotaRO、(株)極東産機(株)、ヤヨイ化学工業(株)など
- 主な保有設備 平面研磨機1台、NCルーターCAD/CAM1台、30tプレス1台、オリジナル成形機2台など
- 主力製品 パテベラ、地べら、クロス押さえローラー、撫でブラシ、皮スキなど

短納期 企画力 小ロットOK オンリーワン技術 量産OK 試作OK 連携力

REPORTER'S
EYE

源邑光 北野刃物製作所では、金属・木工加工から印刷まで一貫して生産でき、へら1本から受注が可能という。100年を超す伝統の中で培った技術力と柔軟な生産対応力を武器に、他にはない強みを持つ。職人向けに高度な製品づくりをする一方、中国工場の設立を皮切りに一般向けの展開にも成功している。今回、補助事業を活用して新たにNCルーターマシンを導入したことでの加工の幅が広がり、さらなる発展が期待できると感じた。



女性も多く活躍する



商品ポスター